

## 海外語学研修

《担当者名》 教授 / 塚越 博史 hiro@ 准教授 / Shaun Hoggard shaun@

### 【概要】

国際化社会と言われる現代社会の中では英語をコミュニケーションの手段として活用する能力が強く求められている。本学でも英語の指導に関してはコミュニケーションに通じる英語教育を重視している。言うまでもなく、英語を学習している者が実際に英語圏に出かけて英語の訓練をすることは計り知れないほどの価値がある。この科目は英語圏の大学で英語の授業を受け、教室の外で実際に使用し、さらに、英語圏の文化をも直接に体験するための講座である。

同研修を選択する者は、本学の長期休業中にカナダの指定大学で約3週間の研修講座に参加する。この科目を選択して所期の目標を達成した者は、第3学年に開講される検定英語、アカデミック・イングリッシュのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

### 【学修目標】

現地の人と英語でコミュニケーションを図る。

文化の違いを説明する。

日本の文化を英語で説明する。

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	事前研修 (本学での講義及びセミナー)	(1) コース・オリエンテーション。国際化社会と異文化の理解(講義) (2) 訪問国研究[歴史、地理、政治、経済](セミナー) (3) 訪問国の教育と研修先大学(講義及びセミナー) (4) 英語コミュニケーションの実践方法(グループイングと演習)	塚越 博史 Shaun Hoggard
2 { 14	現地研修	(1) 語学研修(午前、週4日。聴く・話す訓練を中心に) (2) 特別プログラム(午後、病院見学、学部訪問等) (3) 自然体験旅行 (4) 史跡訪問等 (5) その他(交流会、送別会等)	塚越 博史 Shaun Hoggard
15	事後研修	(1) 研修報告 (2) レポートの作成と提出 (3) 研修報告書の作成	塚越 博史 Shaun Hoggard

### 【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

### 【評価方法】

(1) 事前研修、現地での研修、事後研修での出席と参加態度: 10%

(2) 現地での小テスト及び最終テスト: 80%

(3) 提出レポート: 10%

合格した者は検定英語、アカデミック・イングリッシュのいずれかと振り替えてその単位が認定される。

### 【学修の準備】

現地での研修を有意義なものとするために、そして、トラブルが起こってしまった際にはそれを最小限にとどめるために、事前研修からしっかりとした動機を持って参加する。

現地では“異なる文化・習慣”を理解するために、そして受け入れるために、「(文化の)違いはよし悪しとか、どちらかが正しい正しくないということではない」ことを常に念頭に。違いを楽しむくらいの気持ちが必要である。

### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1. 安全で質の高い歯科医療を提供するために必要な専門知識に基づく問題解決能力と患者ケアのための診療技能とからなる専門的実践能力、および医療・医学研究の発展のために必要な情報・科学技術の活用能力を身につけている。

( 専門知識に基づいた問題解決能力、患者ケアのための診療技能、情報・科学技術を生かす能力)

DP 2. 「総合的に患者・生活者を支える歯科医療」を提供するために必要な高い倫理観、他者を思いやる豊かな人間性および優れたコミュニケーション能力を身につけている。

( 総合的に患者・生活者をみる姿勢、プロフェッショナリズム、コミュニケーション能力)

DP3. より安全で質の高い歯科医療を実践し社会に適応する医学を創造していくために生涯にわたって自己および他の医療者との研鑽を継続しながら医療者教育と学術・研究活動にも関与できる能力を身につけている。

( 科学的探究、生涯に渡ってともに学ぶ姿勢)

DP 4. 多職種(保健、医療、福祉、介護)と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践できる能力を身につけている。

( 多職種連携能力)

DP 5. 歯科医療の専門家として、経済的な観点・地域特性を捉えた視点・国際的な視野を持ちながら活躍できる能力を身につけている。

( 社会における医療の役割の理解)